

『日本経済のマクロ計量分析』のご紹介

2011年5月、日本経済新聞出版社から発売。編著者は市村真一 京都大学名誉教授、L.R. クライン ペンシルベニア大学名誉教授。戦後日本のマクロ計量モデルによる日本経済分析の代表的な論文を集め、同モデルの研究発展の成果を総括しています。

執筆陣には、伴 金美 当研究所評議員・大阪大学教授（第11章 世界リンク・モデルの中の日本モデル）、稲田義久 当研究所所長（第13章 超短期モデル予測と合意予測）等、当研究所「マクロ経済分析プロジェクト」関係者も参加しています。

なお、本書の英語版“Macroeconometric Modeling of Japan”は、2010年7月に World Scientific 社から刊行されています。

※当研究所ホームページの「図書紹介」のページをご参照ください。

http://www.kiser.or.jp/ja/column/pdf/1182_Pdf.pdf

主要な目次、執筆者（敬称略）：

第I部 社会会計とサーベいの分析

- 第1章 日本の経済成長の要因：社会会計論による接近・・・市村真一
- 第2章 日本の失われた90年代の社会会計分析・・・ヒョン ソク
- 第3章 景気指数と調査データによる予測・・・嶋中雄二・鹿野達史

第II部 産業連関分析とCGEモデル

- 第4章 生産要素比率と外国貿易・・・建元正弘・市村真一
- 第5章 日本の地域間相互依存と地域別成長・・・秋田隆裕
- 第6章 東アジア経済の雁行型発展・・・江崎光男・伊藤正一
- 第7章 量的金融緩和政策の資金循環分析・・・辻村和佑・辻村雅子

第III部 マクロ計量経済学モデル

- 第8章 日本経済の成長の計量経済学モデル,1878-1937年・・・L.R.クライン
- 第9章 日本の計量経済学モデル：1930-59年・・・L.R.クライン・新開陽一
- 第10章 阪大社研モデル
 - I. モデルの概要・・・L.R.クライン・市村真一
 - II. モデルの詳しい吟味・・・市村真一・L.R.クライン・小泉進・佐藤和夫
 - III. モデルの動学的性質・・・市村真一・L.R.クライン
- 第11章 世界リンク・モデルの中の日本モデル・・・伴 金美
- 第12章 日本経済の斉藤モデル・・・斉藤光雄
- 第13章 超短期モデル予測と合意予測・・・稲田義久
- 第14章 2020年までの日本経済の成長選択肢・・・宍戸駿太郎・川上彰・玉城清

